

# 雨水会だより

## 平成23年度 首都圏13支部の「雨水懇談会」報告

### 平成23年度 雨水会本部新役員

平成23年5月28日(土)に開催された平成23年度評議員会において、以下の通り今年度の雨水会本部役員を決定しました。

#### 〈雨水会本部役員〉

会長	渡邊 憲一 (千葉県東支部)	竹内 光男 (埼玉県北支部)
副会長	守時 直子 (神奈川県支部)	近江屋 美恵子 (東京都城北支部)
常任理事	柿崎 洋一 (大学推薦)	大塚 文子 (東京都東支部)
	小西 順子 (東京都多摩支部)	狩俣 勝一 (埼玉県支部)
監事	塩原 裕美 (千葉県西支部)	大海 陽一朗 (茨城県支部)
	坂口 登 (埼玉県南支部)	

#### 〈雨水会会長挨拶〉

3月11日の震災以降、罹災に関係された方々には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

会員の皆様方には日頃より雨水会本部および、支部活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成23年度会長に推挙されました千葉県東支部所属の渡邊憲一です。大任ではございますが、1年間、精一杯つとめさせていただきますので、何卒宜しくお願い致します。

さて、雨水会は昭和34年1月に「父母の会」として発足して以来、既に半世紀を迎えた、歴史と伝統のある会です。父母の会が結成されている大学は全国的に見てもそれほど多くはないようですが、この雨水会とはりわけ、独自の活動を行っている点で特徴があります。白山キャンパスにある本部を中心として、北海道から沖縄県までの全国59支部がそれぞれの地域性を加味した特色のある活動を行っております。

雨水会の中心的な事業として、毎年6・7月には首都圏4キャンパスを皮切りに、「雨水懇談会」を全国各地の支部で行なっております。更に、雨水会創立50周年を機として一昨年度より始めました、10月に行われる「会員の集い」もだいぶ定着して参りました。

会員の集いは全国各地の会員の方にお集まり頂き、お子様の生活基盤となっている各キャンパスをご覧頂きながら、日頃ご指導頂いている教職員の方々と接する機会ともなります。全国各地の御父母・保護者の皆様方の交流・親睦の場となれば幸いです。

東洋大学は明治20(1887)年に、哲学者・井上円了博士により哲学館として創設され、来年に創立125周年を迎えます。雨水会も平成14年度より「大学の興隆発展に協力する」ことを目的に記念事業にむけての準備を進めているところで。

今、学生に目を向けてみますと、雨水会創立50周年・大学創立125周年を記念するのごとく、昨年に続き陸上競技部による箱根駅伝往路優勝・総合2位の輝かしい成績や、硬式野球部の東都大学野球春季リーグ戦優勝など、各クラブ・サークルが目覚ましい活躍をしています。子どもの通う大学の活躍は大いに誇りに思うところであり、更なる活躍を期待し、雨水会としても学生に対する協力強化を進めて参ります。

一方、近年の世界経済の急激な変化は、大学の教職員・学生本人の努力にも拘らず、就職に厳しい現実を突きつけております。雨水会としても重要課題と捉え、大学関係者・卒業生等と協力依頼し就職等の機会を少しでも増やせるよう努力しておりますが、多くの機会を得る為に、御父母・保護者の方々におかれましてもお勤め先や、関連会社等の情報の提供を戴ければ幸いです。

最後になりましたが、会員の皆様には今後とも雨水会諸事業に対する一層のご理解・ご協力をお願い申し上げますとともに、東洋大学の発展、会員の皆様方のご健勝・ご活躍を祈念して挨拶と致します。

東洋大学雨水会 会長 渡邊 憲一

### 1. 雨水懇談会開催日

6月18日(土) 朝霞・板倉キャンパス  
6月26日(日) 白山・川越キャンパス

### 2. 出席者数

キャンパス	雨水懇談会		懇親会	
	申込者数	出席者数	申込者数	出席者数
朝霞	83	79	46	41
板倉	103	92	39	29
白山	939	761	394	266
川越	279	235	87	54
計	1404	1167	566	390

### 3. 当日の講演者および講演テーマ

#### 1) 朝霞キャンパス

学部長挨拶 高橋儀平(ライフデザイン学部長)  
講演者 三浦節夫(ライフデザイン学部教授)  
テーマ「井上円了と東洋大学」

#### 2) 板倉キャンパス

学部長挨拶 大熊廣一(生命科学部長)  
講演者 狩野英樹  
(ソーシャルデザイン研究所就職コンサルタント)  
テーマ「昨今の就職状況と親の役割」

#### 3) 白山キャンパス

学長挨拶(代行) 佐々木啓介副学長  
(経済学部教授)  
大学の近況報告 柿崎洋一常務理事  
(経営学部教授)  
講演者 川田英利(㈲ペイ・フワード代表)  
テーマ「就職戦線の今! 取り巻く環境と我が子に出来る最良な支援と心得」

#### 4) 川越キャンパス

学部長挨拶 吉田泰彦(理工学部長)  
大場善次郎(総合情報学部長)  
講演者 小島貴子(経営学部准教授)  
テーマ「子どもを自立させる為に親がすべきこと」



## 編集 雑記

第228号、テーマは

「向きあう心」。

震災後の電力供給制限により

思いがけずいつもより長くなった夏休み。

3.11から約100日。この数ヶ月を振り返りつつ、いまこそできることに向き合う夏にしたい。

⑥大学生活最後の年、近所の串カツ屋でアルバイトをしていた。そこで初めて、ソース二度つけお断りの大阪名物串カツに出会った。中でも紅しようがの串カツは初めて見た時こそ驚いたが、クセになる美味しさ。チャキチャキの江戸っ子の店長と奥さんは私を実の子どものように可愛がってくれた。今でもたまに、恋しくなる。(紅)

⑤思い返せば、2008年神宮球場で友人と優勝テープを投げ込んだ。硬式野球部日本一の瞬間に、今年再び立ち会えた。選手にインタビューすると、監督や先輩を尊敬し、慕う心を強く感じた。言葉だけではなく姿勢で伝えていくことも、この伝統校の強みだろう。部活動から学ぶ人生の教訓は多いなど、こまればの道を歩きながら思った。(甲)

④最近、アロマテラピーのオイルを使うことで暑さ対策をしている。例えば、ペパーミントのオイルをお風呂に入ると、湯上がりに爽快感が残って体温が5℃～10℃は涼しく感じるし、レモンやライムのオイルもうまく取り入れると部屋の空気が爽やかに。茹だるような暑さの中、節電でクーラーも使わず参っている方はぜひお試しあれ。(香)

③最近企業が学生に求める能力は「グローバル人材」らしい。以前は「コミュニケーション能力」「協調性」という時代もあった。しかしグローバル化や国際化は最近始まったことではない。これまで企業が行っていた人材育成の労力やコストを大学に押し付けているようにも映る。西洋化といわれた125年前、本学創立期の明治時代のものである。(交)

②白山の屋上ヘリポートにたびたび足を運んでいる。日頃平坦に眺めているものも、ときに高さや角度を変えてみると、いま向き合うべきものの本質が新たな視点で見えてくる。高い所からの眺めが好きなのは、そんな期待があつてのことかも知れない。炎天下のヘリポートに通った成果は…大学WEBサイト内「熱帯夜」で検索してみてください。(高)